朝倉文夫 生誕一四〇周年記念

猫と巡る140年、そして現在

140 years with cats, and now

2023. 6.9(金)－8.15(火)

▲朝倉彫塑館（東京都台東区）

大分県豊後大野市朝地町出身の朝倉文夫は、日本の近代彫刻を牽引した作家です。愛猫家としても知られる朝倉は、1964年に東京オリンピック開催記念として〈猫百態展〉を準備しましたが、病のため他界しました。本展は、猫の作品を中心に朝倉の創作を振り返るとともに、大分を拠点に活躍する美術家・安部泰輔と絵本作家／美術家・ザ・キャビンカンパニーの視点も通し作品を顕彰、競演します。今回の見どころを朝倉彫塑館・主任研究員の戸張（とばり）泰子さんと朝倉文夫記念館の佐藤摂子さんにお聞きしました。

▼朝倉文夫記念館（大分県豊後大野市）

豊後大野市まちづくり推進課
朝倉文夫記念館
佐藤 摂子さん

台東区立
朝倉彫塑館
主任研究員
戸張 泰子さん

――朝倉文夫はどんな人で、どのような創作活動を行ったのか、哲学をお持ちだったのかなど、教えてください。

佐藤　朝倉文夫は、現在の豊後大野市朝地町出身の彫刻家です。明治16（1883）年に生まれ、19歳で上京するまで、大分県で過ごしました。長兄の影響を受けて東京美術学校で彫塑を学び、その卓越した技術と徹底した写実表現で、近代日本の彫塑の基礎を築いた一人です。彫刻界で、また、大分県で第1号となる文化勲章も受章しました。朝倉は、故郷の自然を愛し、晩年、生家周辺の土地を購入し、自分や兄弟の作品を展示する美術館や梅園を配した公園の建設を構想しました。その土地を「愛の園生（そのう）」と名付け、理想的な芸術鑑賞空間を作ろうとしていましたが、昭和39（1964）年、志半ばで急逝しました。現在の『愛の園生朝倉文夫記念公園』と、その中核となる『朝倉文夫記念館』は、この朝倉の遺志を継いで作られたもので、四季折々の自然とともに、朝倉作品を楽しめる施設です。

戸張　彫刻家としての仕事は、石膏原型が重要文化財に指定されている《墓守》や、早稲田大学の《大隈重信像》がよく知られています。猫作品も人気がありますね。中でも傑出しているのは、肖像彫刻の分野。当時、肖像彫刻は必ずしも彫刻家の名誉につながる仕事ではなかったようです。しかし、世評よりも自らの信念に基づいて表現活動に邁進するあたりも朝倉の人となりを表しています。朝倉の写実表現と技巧は、肖像彫刻に合致していたのでしょう。その実力を発揮し活躍しています。今でも各地に残された作品を見ると、その技術力に驚嘆します。

――朝倉文夫の魅力や美術界における功績などを教えてください。

佐藤　朝倉は努力の人でした。「一日土をいじらざれば、一日の退歩」と日々制作に励み、数多くの作品を残しました。制作対象を客観的に見つめ、その特徴を表現するために一番ふさわしいポーズや表情を、自然に、正直に形にしています。作品が自然であるから、私たちも素直に作品と向きあうことができます。美術界における功績は、東京美術学校の教授として、また朝倉塾や朝倉彫塑塾の主宰、官展の審査員として、日名子実三など多くの後進を育成し、近代の彫刻界の発展に貢献したことでしょうか。

戸張　佐藤さんのお話にもあったように、彫刻家としての成功を社会に還元することを考える人でした。美術界や彫刻界の未来を考え、東京府美術館の設立に協力を惜しまず、戦時中の金属供出に反対し、日本における健全なアカデミズムの構築や日本彫塑家連盟の設立などに尽力しています。こうした広い視野に行動が伴っている稀有な芸術家です。彫刻家としての実力は言うまでもありませんが、趣味人としても造詣の深い人でした。ガラス細工などの日用品も職人の技を感じる、触ったときの手の感覚が研ぎ澄まされるものを好んで愛用していたようです。その美意識やこだわりは当館の建築や構造によく表れていると思います。発想や理想を実現できる行動力・実行力を備えていたといえます。

――今回の展覧会で、ぜひ観てほしいところなどあれば教えてください。

佐藤　愛猫家として知られる朝倉は、数多くの「猫」の作品を制作しました。「猫」の一瞬の動きを捉えて形にする朝倉の観察力、技術力にあらためて注目していただけたらと思います。また、近代の日本で活躍した朝倉の彫刻と、現代で活躍するアーティストの作品を、「猫」という制作対象でつないで、互いの作品の魅力を紹介する展示になるとのことで私も期待しています。

戸張　今回の展示は猫作品を中心に朝倉の主要作品をお楽しみいただける構成になっていると思います。美術館の周辺（遊歩公園）にも作品は設置されており、多くの朝倉作品にふれていただける機会になります。その上で、朝倉の人間的な魅力も知ってもらいたいですね。本展を通して朝倉の仕事や人となりが現代や後世に引き継がれ、語り継がれていくことも楽しみです。

DATA

朝倉文夫生誕140周年記念
猫と巡る140年、そして現在
6/9（金）～**8/15**（火）
▶大分県立美術館 1階 展示室A アトリウム

時 10:00～19:00、金・土曜～20:00（入場は閉館の30分前まで） ¥ 一般1,400（1,200）円、高校・大学生1,000（800）円※（　）内は前売および有料入場20名以上の団体料金 問 大分県立美術館 Tel:097-533-4500